法人(事業所)理念		(法人理念) こどもたちの笑顔を創る (事業所理念) こどもたちの好きなことや得意なことを伸ばす			
支援方針		・「こども主体で」こどもたちが何をしたいのか、何を感じているのか、何を求めているのかなど、常にこどもたち主体で考えます。 ・「こどもの遊びを大切に」こどもたちが、何が好きなのか、何の遊びをしたいのかを知り、その遊びの幅が広がるように提供し一緒に遊びを楽しみます。 ・「安心・安全な場に」こどもたちが安心できる場所、自分の居場所を見つけ、自分らしさを発揮できるようにします。			
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・睡眠・食事・排泄・衣類の着脱など基本的な生活習慣や、身支度・準備・片づけなど集団生活に必要なスキルが身につくようなプログラムを実施。 ・個々の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。			
	運動・感覚	・体を動かすことが楽しいと思え、自ら遊びに参加できるような環境の設定。 ・自力での身体可動性や歩行、車いすによる移動など、日常生活に必要な移動機能の向上。 ・歩く・走る・止まるなどの基本動作から、体力作り、全身運動などを遊具や遊びに取り入れるプログラムを実施。 ・ひっぱる・つかむ・つまむ・まわす・通す・はめる・入れるなどの手先の動きを、おもちゃや課題を使ってプログラムを実施。 ・触覚・味覚・嗅覚・視覚・聴覚の五感をふんだんに味わったり、揺れたりスピード感を味わえるよう、クッキングなどのプログラムを実施。			
	認知・行動	・目や耳など、感覚のどの部分からの認知が得意かを知り、個々に応じた支援の提供。 ・適切な行動を知る支援の提供。 ・色や形、大小や長短、時間の概念、比較や分類など、おもちゃや絵本、課題などを使ってプログラムを実施。			
	言語 コミュニケーション	・言葉だけの表出に限らず、こどもたちが自分の意思を身振りや手振りなど何らかの方法で表出できる環境の設定。 ・物と名称、行動と言葉、感情と言葉を一致できる課題などのプログラムや、模倣遊びなどを通して名詞や動詞、助詞などの言語を習得できるプログラムを実施。			
	人間関係 社会性	・自分の表出した気持ちを、スタッフに共有してもらえたという安心感がもてる環境の設定。 ・一人遊びから、対大人と遊び、見立て遊び、他児との並行遊びから協調した遊びにつながるプログラムを実施。 ・ルールのある遊びを通して、集団生活への参加やルールの理解、自分と他人の気持ちの理解ができるプログラムを実施。			
家族支援		・家族の子育てや発達についての相談や援助を行うことで、孤独感を軽減できるサポート作り。 ・保護者会や座談会の開催への機会の提供。	移行支援	・事業所と学校などの集団生活での支援方法の統一化。 ・移行先への相談援助。 ・地域イベントへ参加し、地域の方と触れ合う機会作り。	
地域支援・地域連携		・こどもたちを取り巻く機関(学校や医療機関、相談支援事業所など)と、個別支援計画などの情報共有。 ・災害時などの協力要請 ・地域行事への参加	職員の質の向上	・児童発達支援ガイドライン、定型発達や障害知識など基礎知識に関する 研修 ・虐待防止、感染症・衛生管理、事故防止、災害、不審者対応などの研修 ・各専門分野同士のスキルアップのための研修。	
主な行事等		季節の行事、地域住民や利用者を対象としたイベントの実施。 1日利用時に外出、外食体験の実施。			